

申緑が丘

自主
健康
友愛



←学校HP
はこちら

地域社会で学ぶ

2学年

職場体験学習

7月2日(火)、3日(水)に、「働くために大切なことは何か」～仕事に誇りや愛着を持つ地域の方々から学ぼう～を活動テーマとした職場体験学習を行いました。生徒たちは、19の事業所等を訪問し、働くことを経験し、与えられた仕事に責任をもってやり遂げることなどを通して、働くことの意義、働く人(仕事)の苦労や喜びを学びました。各事業所等の「要望・条件・留意点」には、「元気な挨拶と返事等を心がけてほしいこと」「爪を切るなどの身だしなみに気を配ってほしいこと」「安全・安心に仕事ができるよう集中して取り組んでほしいこと」などがありました。これらは、職場や地域社会で多様な人々と安心して仕事をしていくために必要な能力です。今回の学びを将来の自分づくりそして職業選択に役立ててほしいと思います。



各事業所等

- ・(株)岩泉きのご産業 ・小本浜漁業協同組合 ・岩泉ホールディングス(株)乳業事業部 ・龍泉洞温泉ホテル
- ・(株)西倉工務店 ・(有)中松屋 ・志たあめや ・岩泉ホールディングス(株)道の駅いわいずみ ・アップルビー
- ・(株)清水川クリーニング小本工場 ・ホテル龍泉洞愛山 ・龍泉洞レストハウス ・岩泉町役場 ・岩泉消防署
- ・岩泉町立図書館 ・岩泉小学校 ・いわいずみこども園 ・こがわこども園 ・おもとこども園

挨拶

「挨拶」といえば、高視聴率をマークしていたドラマ「半沢直樹」第5話の中で、次のようなシーンがあった。— 経営危機に陥った原因を調べるため帝国航空の社内を視察した半沢は、部下に「ここは腐ってない」と所感を伝える。「おれはバンカーとしていろいろな企業をみてきた。…倒産寸前の会社では大企業でも大阪の小さな町工場でも同じ現象が起きる。…挨拶だ。倒産する会社は社外の人に挨拶をしなくなっていく。会社に対する自信と誇りがなくなるからだ・・・。」—

さて、本校生徒会では「大きな声での返事や挨拶」に挑戦しているが、どんな挨拶になっているだろうか・・・? 「自信と誇り」に裏付けされた「挨拶」・・・今一度確認してほしい。

謎解きゲーム (6/25) 学習対決 (7/16)

生徒の手による学校づくり 生徒会活動 活発化

生徒会執行部では、全校生徒が交流して仲を深める機会を設けたいという考えから「謎解きゲーム」を企画・実施しました。この活動は、生徒同士のコミュニケーションの充実を図るとともに、定期テストに向けた学力向上も図ることができるよう工夫されていました。当日は、チームごとに難問に挑み、楽しみながら取り組んでいました。

学習委員会では、全校生徒の学習への意識を高めることを目指した「学習対決」を企画・実施しました。この活動は、事前に配布されたプリントを家庭学習で取り組み、学年対抗で「テスト」を行い、どの学年が最も学習に力を入れたのかを対決します。家庭学習との連動、結果ではなく努力したプロセスを大切にしたい素晴らしい企画となりました。



「謎解きゲーム」
企画会議中

「学習対決」
全力で挑戦中



なぜ勉強するのか 学習の進め方

勉強して得た知識も大事だけれど、
実は、「勉強することそれ自体」が、
一番大切!

勉強の鉄則と行動

「やる気をもって」「集中して」「くり返す」・・・これが3つの鉄則

「やる気」×「集中力」×学習時間(くり返し) = 「学習効果」

「中学生 中間・期末テストの勉強法」より
《高濱正信・大塚剛史 著 実務教育出版》

ぼくは今、社会人として毎日をととても楽しく過ごしている。
それは学生時代に「考えて行動する力」を身につけることができたおかげだと思っている。
大事なのは、中学、高校時代に「どれだけ考えて実行して、積み重ねたか」だ。

【やる気・・・目標をはっきり決める。毎日続ける(「今日もやった」と思えることが大事)。リフレッシュ(メリハリをつける)】
【集中して・・・勉強しかない環境。短い集中を積み重ねる。集中した時間の記録をする。】

県通信陸上大会 岩中生 躍動!

6月29日(土)、30日(日)、北上総合運動公園において全日本中学校通信陸上競技岩手県大会が行われ、宮古地区予選で3位までに入賞した24名が出場しました。選手たちは、練習の成果を十分に発揮し、最後まで全力で競技に挑みました。

相沢綜太郎さん(2年)は、共通男子走高跳において、165cmを見事に成功させて3位となり、東北大会の出場権を獲得しました。

8月10日(土)に行われる東北大会での活躍も期待しています。

